保管用

施工説明付き

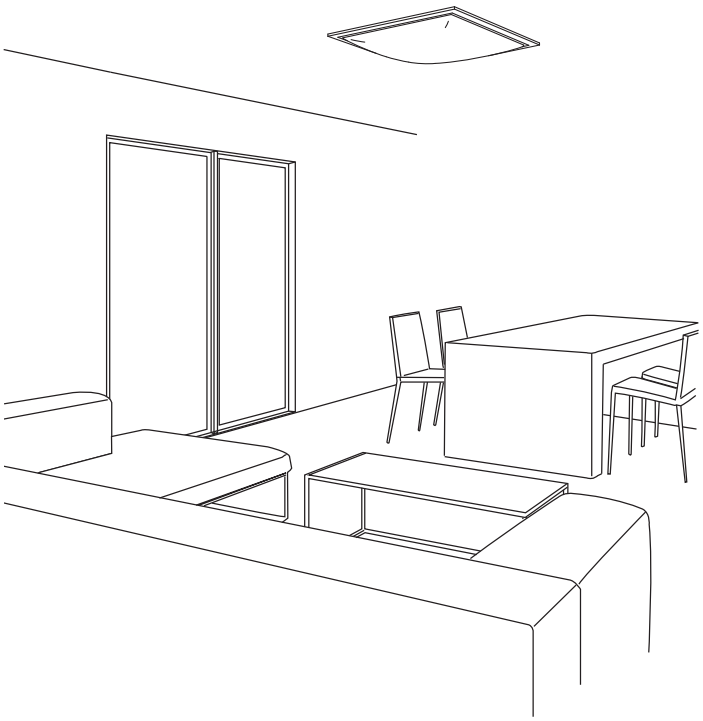
DAIKO
大光電機株式会社

取扱説明書

住宅用照明器具
（シーリングライト）

LEDシリーズ

※対象品番は裏表紙の仕様欄を参照ください



※イラストはイメージです。

もくじ

安全上のご注意 …… 2

各部のなまえと付属部品 …… 3

照明器具を取り付ける …… 4

照明器具を取り外す …… 5

各部のはたらき …… 6

あかりをつける …… 6

リモコンの便利な使いかた …… 8

故障かな?と思ったら …… 9

お手入れについて …… 9

ご使用上に関するお知らせ …… 裏表紙

仕様 …… 裏表紙

保証についてと点検方法 …… 裏表紙

お客様へ

このたびはお買い上げいただきまして、
まことにありがとうございます。

■取扱説明書をよくお読みのうえ、
正しく安全にお使いください。
特に、ご使用前に「安全上のご注意」（2〜3ページ）を
必ずお読みください。
本説明書は大切に保管してください。

工事店様へ

■本説明書は必ずお客様にお渡しください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

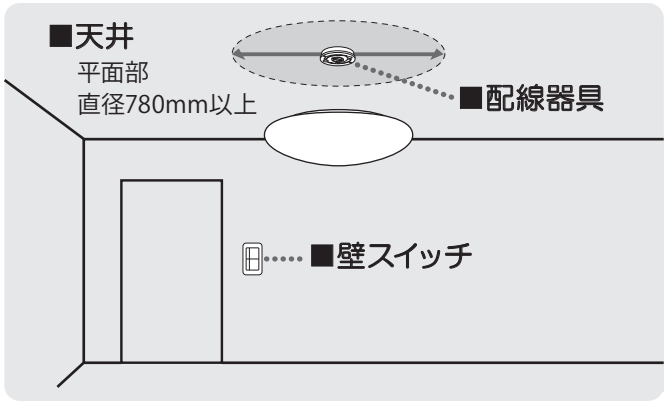
■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警 告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注 意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。（下記は図記号の一例です。）

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

⚠ 警 告



■天井

必ず守る

●必ず上図のような平面部の直径が780 mm 以上の天井に取り付ける

落下によるけがのおそれがあります。

●凹凸のある場所に取り付けない

落下によるけがのおそれがあります。

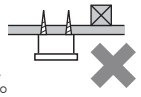


※竿縁天井用アダプタ（別売:品番DP-40638）を使用した場合は、竿物天井に取り付けできます。
詳細は竿縁天井アダプタの取扱説明書をご参照ください。

禁止

●補強のない場所 に取り付けない（ベニヤ板や石こうボードなど）

落下によるけがのおそれがあります。



●傾斜した場所に取り付けない

火災、落下によるけがのおそれがあります。



◎この器具は　水平 天井面取り付け専用です。
※傾斜天井用アダプタ（別売:品番DP-40091）を使用した場合は、55度までの傾斜天井に取り付けできます。
詳細は傾斜天井用アダプタの取扱説明書をご参照ください。

■配線器具

●がたついたり、破損している配線器具（ローゼット・引掛シーリング）には取り付けない

火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

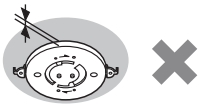


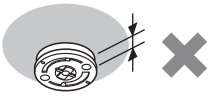
●適正な状態にない配線器具には無理に取り付けない

落下によるけがのおそれがあります。

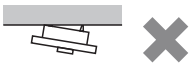
内装材の重ね貼りなどにより出しろが小さくなったもの

禁止





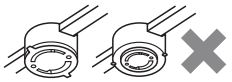
斜めに取り付けられたもの



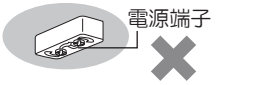
シーリングハンガーが取り付けられたもの



ケースウェイに取り付けられたもの



電源端子露出タイプ

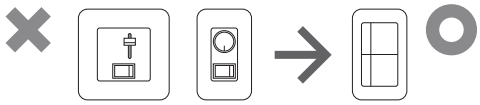


■壁スイッチ

必ず守る

●調光機能が付いた壁スイッチの場合は、一般の入切用スイッチに交換する

火災のおそれがあります。



◎販売店、工事店に交換を依頼してください。
（取り外しには資格が必要です。）

■その他

分解禁止

●器具を改造したり、部品交換をしない

火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

必ず守る

●異常を感じた場合、速やかに電源を切る

異常状態が収まったことを確認し、工事店、お買い上げの販売店、または弊社「CSセンター」にご相談ください。

●交流100ボルトで使用する

過電圧を加えると過熱し、火災、感電のおそれがあります。

必ず守る

●アダプタは確実に取り付ける

落下してけがのおそれがあります。

●本体は確実に取り付ける

破損して感電のおそれがあります。

●本体が簡単に回転しないことを確認してからカバーを取り付ける

破損して感電のおそれがあります。

⚠注 意

必ず守る

●照明器具には寿命があります。
設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください
点検せずに長期間使い続けるとまれに火災、感電、落下などに至る場合があります。

●付属の梱包材は取り除いて使用する
そのまま使用すると、火災の原因となることがあります。

●カバーは確実に取り付ける
落下してけがのおそれがあります。

接触禁止

●点灯中や消灯直後はLEDやその周辺にさわらない
やけどの原因となることがあります。
◎お手入れは電源を切り、LEDやその周辺が冷めてから行ってください。

水ぬれ禁止

●浴室など湿気の多い場所や屋外で使用しない
火災、感電の原因となることがあります。
◎この器具は防湿、防雨型ではありません。

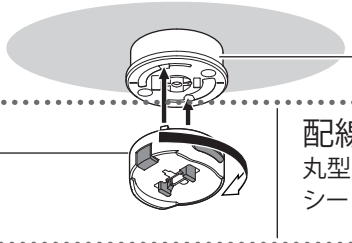
禁止

●温度の高くなるものを器具の真下に置かない
火災の原因となることがあります。
◎器具の真下にストーブなどを置かないでください。

●カバーを外した状態で点灯したLEDを長時間直視しない
目の痛みの原因となることがあります。

各部のなまえと付属部品　施工する前にまず付属部品をご確認ください

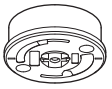
照明器具



本体取り付け用付属部品

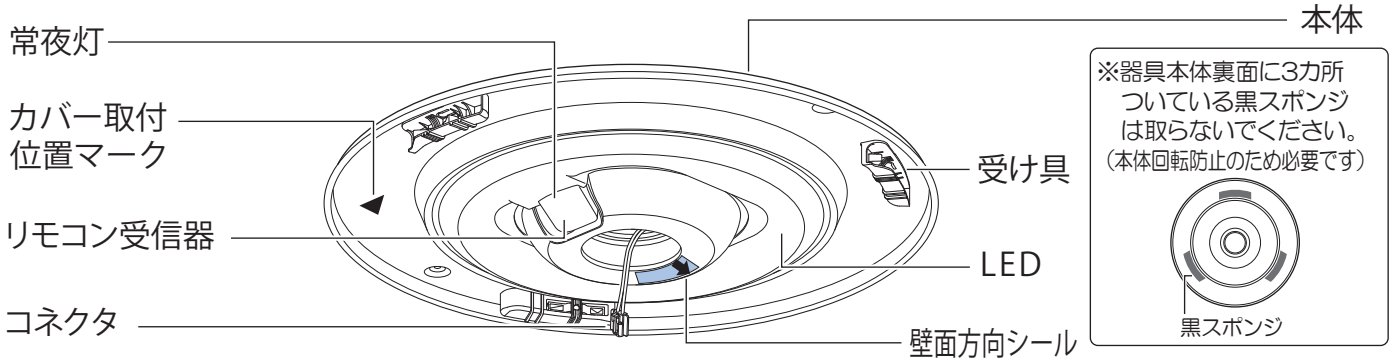
アダプタ (1個)

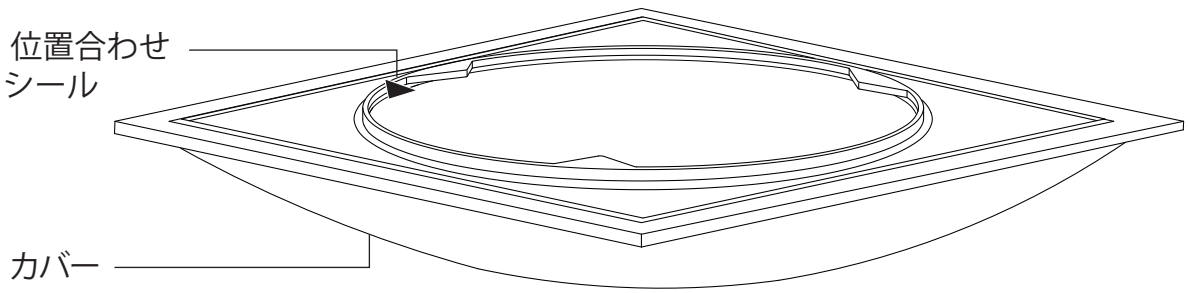
配線器具
丸型フル引掛シーリング(1個)



引掛シーリング用木ネジ (2本)

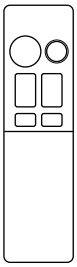






リモコン付属部品

リモコン
(1個)

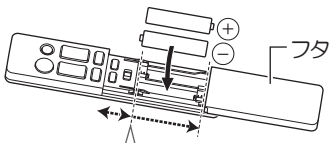


操作方法は、6~8ページ参照

単4形乾電池
(2本)

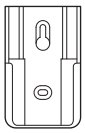


●リモコンのフタを開けて、単4形乾電池を2本入れる。



フタは、2度引く
チャンネルボタンの下でいったん止まりますので、もう1度引いてください。

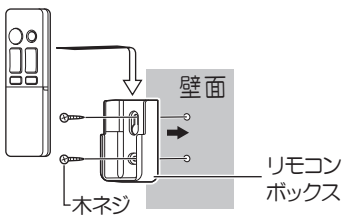
リモコンボックス
(1個)



リモコンボックス用木ネジ (2本)



●リモコンボックスを使用して、紛失防止用に壁掛け収納できます。



照明器具を取り付ける　安全のため、電源を切ってから行ってください

※必ず壁スイッチと併用してください。　☞ 裏表紙「ご使用上に関するお知らせ」参照

1 天井についている配線器具を確認する

天井に右記のような配線器具が付いている場合、取り付けできます。

→**2**の作業へ進んでください。

右記以外の配線器具の場合、または、配線器具が設置されていない場合は取り付けできません。

◎販売店、工事店に配線器具の取り替え、取り付けをご依頼ください。

※工事には資格が必要です。

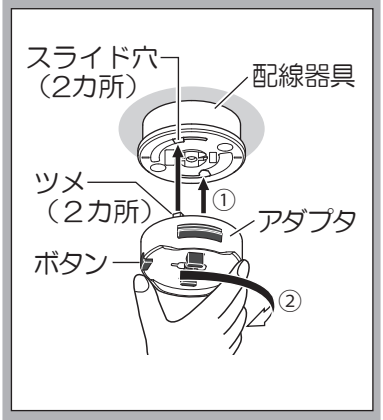
天井からの出しろが 22 mm の配線器具		天井からの出しろが 11 mm の配線器具	
丸型フル引掛シーリング	丸型引掛シーリング	引掛埋込ローゼット	
フル引掛ローゼット	角型引掛シーリング	引掛埋込ローゼット（ハンガーなし）	

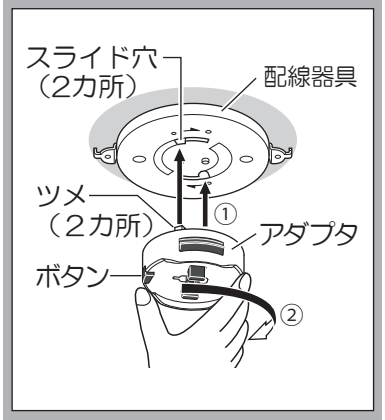
2 天井の配線器具にアダプタを取り付ける

①位置を合わせる
　アダプタのツメ（2カ所）を配線器具のスライド穴に入れる

②カチッと音がするまで
　アダプタを右に回して取り付ける

確認　ボタンを押さずに左に回して外れないことを確認する





⚠警 告　**アダプタは確実に取り付ける**
落下してけがのおそれがあります。

3 アダプタに本体を押し上げて取り付ける

①本体の壁面方向シールと壁面の方向を合わせる

②アダプタに本体の穴を合わせて押し上げる

※配線器具により本体の取付位置が異なります。右記を参考に押し上げてください。

※器具裏面の黒スポンジは取り外さないでください。本体の固定ができなくなり簡単に回転します。

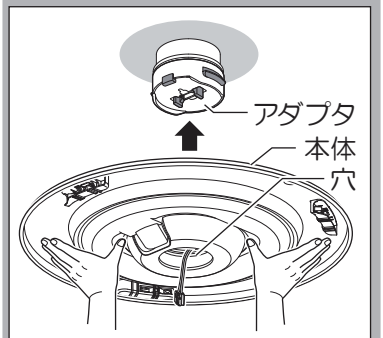
確認

本体を押し上げてもアダプタに取り付かない場合は、アダプタが正しく取り付けられていません。

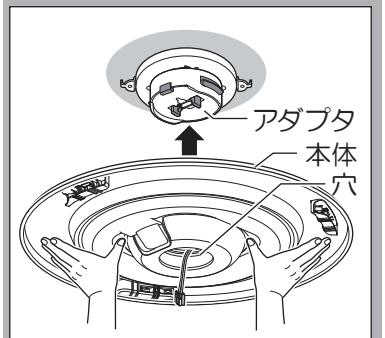
→取り付けできない場合は、

(1) アダプタを外す
　☞ 次ページ「照明器具を取り外す」手順3参照

(2) 再度、手順**2**を行う

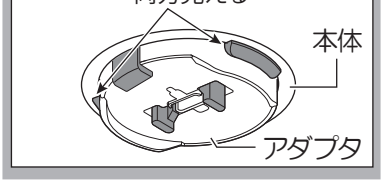


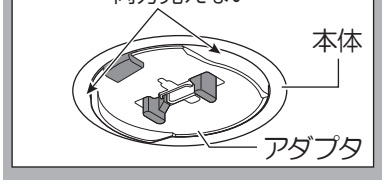
カチッ,カチッと2度、音がするまで押し上げる



カチッと1度、音がするまで押し上げる

アダプタの本体取り付け位置	アダプタの本体取り付け位置
アダプタのツメ(黒色)が両方見える	アダプタのツメ(黒色)が両方見えない

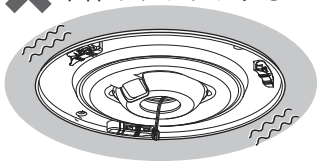




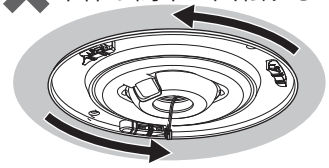
⚠警 告　**本体は確実に取り付ける**
破損して感電のおそれがあります。

4 本体が正しく取り付けられているか確認する

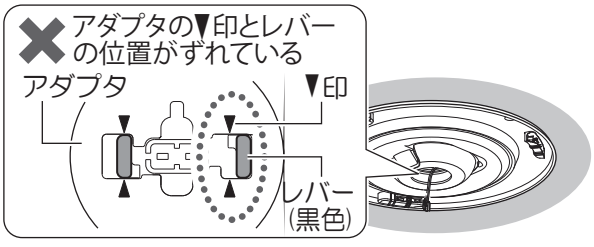
✖本体がグラグラする



✖本体が簡単に回転する



✖アダプタの▼印とレバーの位置がずれている

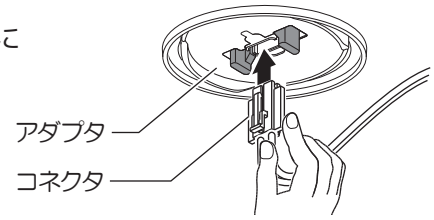


上図の場合、正しく取り付けされていないので再度、手順**3**を行ってください。

5 コネクタをアダプタに差し込む

① 本体がグラグラしていないか、簡単に回転しないか確認する

② コネクタをアダプタに確実に差し込む



確認

●コネクタが差し込めない場合は、本体が正しく取り付けられていません。
→差し込めない場合は、前ページ手順 **3** に戻る。

●引っ張って、コネクタが外れないことを確認する。

●本体がグラグラしている状態や簡単に回転する状態でコネクタを差し込んだ場合は、コネクタを外して（☞ 下記「照明器具を取り外す」手順 1 参照）本体を押し上げる（☞ 前ページ手順 **3** 参照）

6 カバーを取り付ける

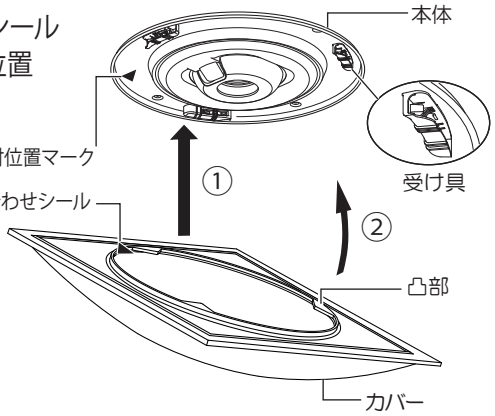
① カバーの位置合わせシールを本体のカバー取付位置マークに合わせる

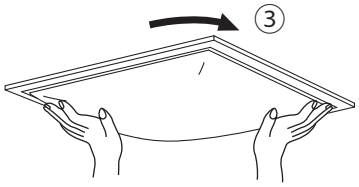
② カバーを持ち上げる

③ カバーを、回転が止まるまで右に回す
(回転角度は、最大で約50度)

④ カバーが右に回転しないことを確認する

⑤ カバー を軽く下に引っ張って、外れないことを確認する





⚠ 警 告

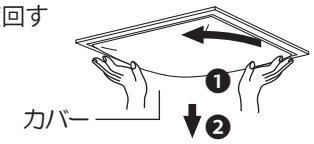
本体が簡単に回転しないことを確認してからカバーを取り付ける
破損して感電のおそれがあります。

⚠ 注 意

カバーは確実に取り付ける
落下してけがのおそれがあります。

カバーの外しかた

❶カバーを左に約２０度回す
❷カバーを外す



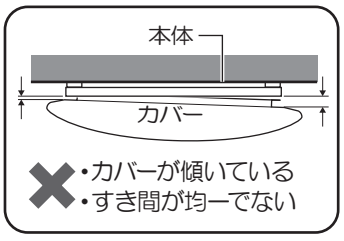
確認

カバーが1回転しても取り外せない場合は、本体が正しく取り付けられていません。
→取り外せない場合は、
本体を押さえながらカバーのみを左に回して外し本体を正しく取り付ける
☞ 左記 確認 手順(1)～(3)参照

確認

●カバーが1回転しても取り付けできない場合は、本体が正しく取り付けられていません。
→取り付けできない場合は、
(1) コネクタを外す ☞ 下記「照明器具を取り外す」手順 1 参照
(2) 本体を押し上げる ☞ 前ページ 手順 **3** 参照
(3) コネクタを差し込む ☞ 上記 手順 **5** 参照
(4) 再度、手順 **6** を行う

● カバーが傾いていないか、すき間が均一になっているか確認する。
→ カバーが傾いたり、すき間が均一でない場合は、
カバーの凸部が受け具にはまっていない可能性があります。
カバーを左に回して外し、再度、手順 **6** を行う

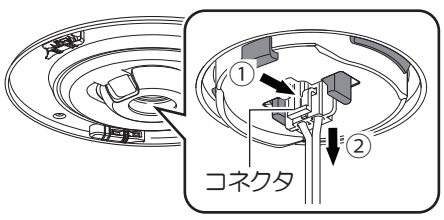


照明器具を取り外す

安全のため、電源を切ってから行ってください

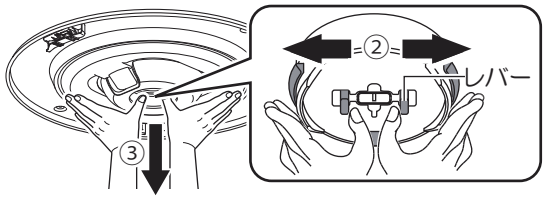
1 コネクタを外す

①つまみながら
②引いて、外す



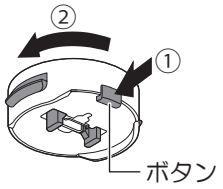
2 本体を外す

①本体が落ちないようにしっかりと支え
②レバーを矢印の方向(左右)に広げたまま
③本体をゆっくりと下げて、外す



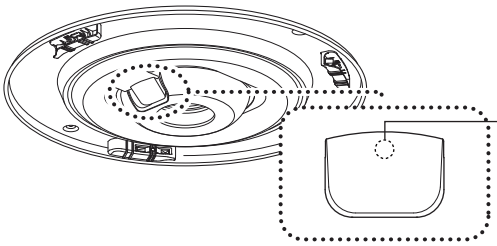
3 アダプタを外す

①ボタンを押しながら
②左に回す



各部のはたらき

リモコン受信器（本体）



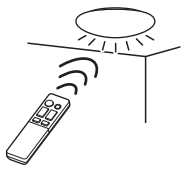
リモコン受信部

リモコンからの信号を受けます。
傷つけたり、汚したりしないでください。

リモコン

送信のしかた

必ず「リモコン送信部」を器具に向けて操作してください。



リモコン送信部

傷つけたり、汚したりしないでください。

点灯ボタン

LEDが明暗ボタン、調色ボタンで変更した明るさ、色で点灯
（初期設定：昼白色、明るさ約70%）
☞7ページ「あかりを切り替える」、「LEDを調光、調色し記憶させる」参照

調色ボタン

LEDの光色を白い色から暖かい色に連続で調節
☞7ページ「LEDを調光、調色し記憶させる」参照

全灯ボタン

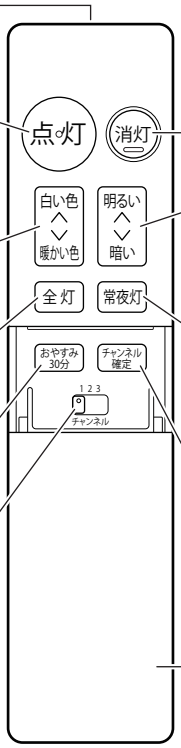
LEDが昼白色、明るさ100%で点灯
☞7ページ「あかりを切り替える」参照

おやすみタイマーボタン

☞8ページ「おやすみタイマーをセットする」参照

チャンネルボタン

操作する器具のチャンネル（1～3）を設定
☞8ページ「複数のリモコン照明器具を操作する」参照



消灯ボタン

明暗ボタン

LED（100%～約5%）、常夜灯（6段階）の明るさを調整
☞7ページ「LEDを調光、調色し記憶させる」、「常夜灯を調光し記憶させる」参照

常夜灯ボタン（蓄光）

常夜灯が明暗ボタンで変更した明るさで点灯
（初期設定：100%の明るさ）
◎太陽光や照明器具の光を蓄えて発光します。
☞7ページ「常夜灯を調光し記憶させる」参照

チャンネル確定ボタン

チャンネル（1～3）の設定を確定
☞8ページ「複数のリモコン照明器具を操作する」参照

フタ

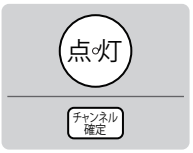
フタをスライドさせて、チャンネル切替を行います。

■リモコン操作時の音を消す方法

壁スイッチをONにして30秒以内に下記の操作を行ってください。

1 

リモコンのフタをスライドさせて「リモコン送信部」を器具に向ける

2 

リモコンの「点灯ボタン」と「チャンネル確定ボタン」を同時に押す

メモ

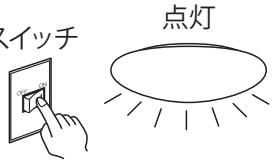
リモコン操作時の音を鳴らす場合は、上記の操作をもう一度行ってください。

あかりをつける

壁スイッチで照明器具を操作する

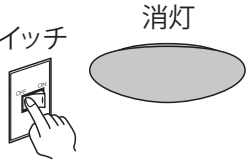
点灯・消灯する

壁スイッチ ON



前回の「明るさと色」で点灯します

壁スイッチ OFF



現在（消す直前）の「明るさと色」を記憶して消灯します

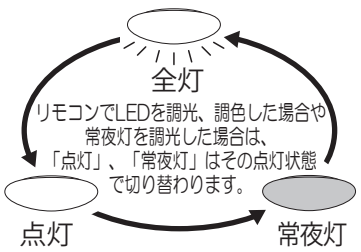
注)リモコンで消灯した場合、壁スイッチをONしても点灯しません。
（記憶機能付のため）

◎点灯方法：**「壁スイッチON状態でリモコンON」**または、**「壁スイッチを素早く(約1秒以内)ON→OFF→ON」**すると点灯します。

点灯状態を切り替える

壁スイッチを素早く（約1秒以内）OFF→ONすると点灯状態が切り替わります。



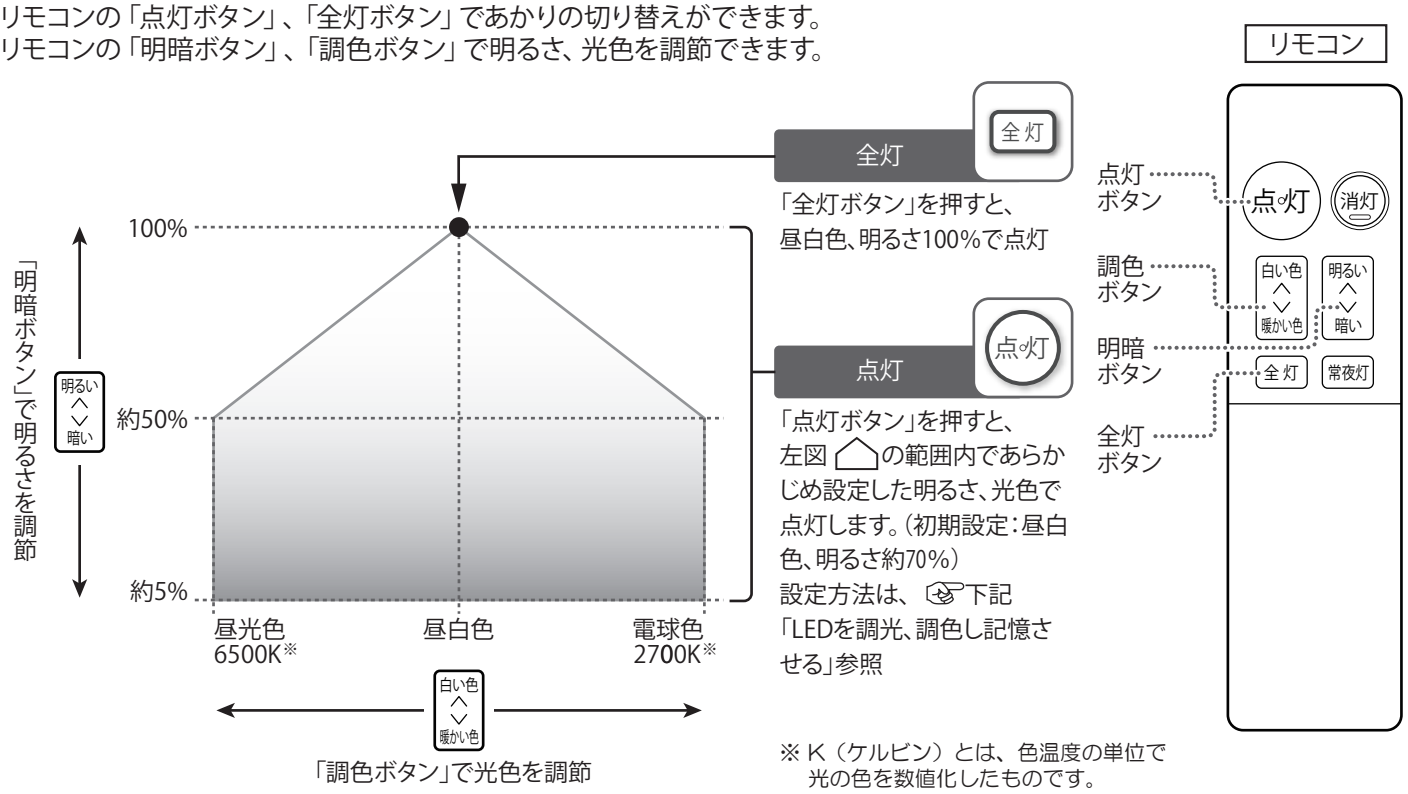


●壁スイッチ1個で2台以上の照明器具を使用しないでください。
点灯状態が、同時に切り替わらない場合があります。

あかりを切り替える

壁スイッチはONの状態にしてください

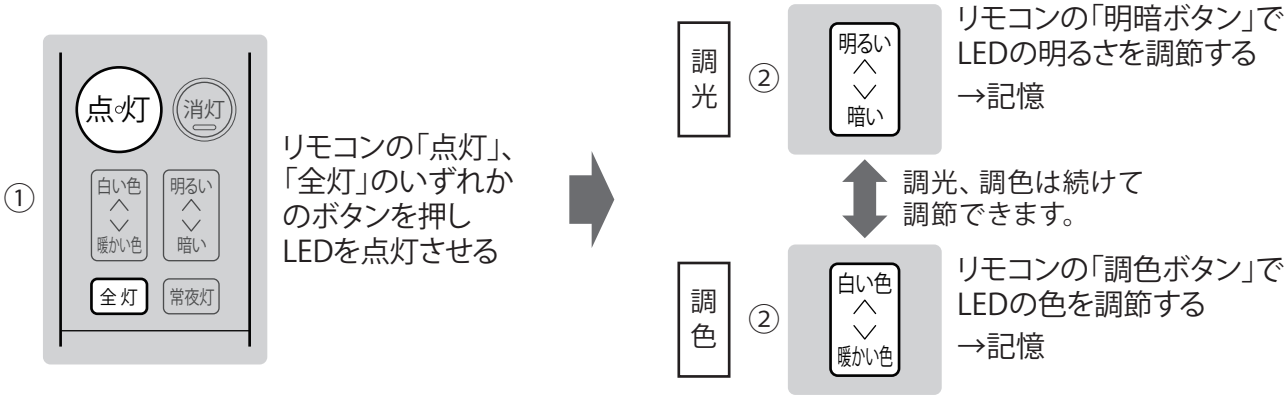
リモコンの「点灯ボタン」、「全灯ボタン」であかりの切り替えができます。
リモコンの「明暗ボタン」、「調色ボタン」で明るさ、光色を調節できます。



※K(ケルビン)とは、色温度の単位で光の色を数値化したものです。

LEDを調光、調色し記憶させる

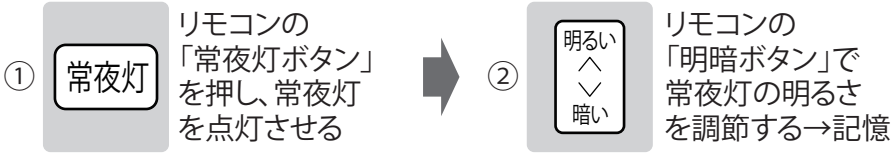
LED点灯中に調光、調色操作を行うと、その明るさ、色を「点灯ボタン」に記憶します。



メモ
- 再度、「点灯ボタン」を押すと、記憶した明るさ、色で点灯します。
- 「全灯ボタン」を押して明るさや色を調節した場合も「点灯ボタン」に記憶されます。

常夜灯を調光し記憶させる

常夜灯点灯時に調光操作を行うと、その明るさを記憶します。



メモ
- 6段階の明るさを調節できます。
- 再び左記の操作を行うまでは、記憶した明るさで点灯します。
- 常夜灯は調色できません。

リモコンの便利な使いかた

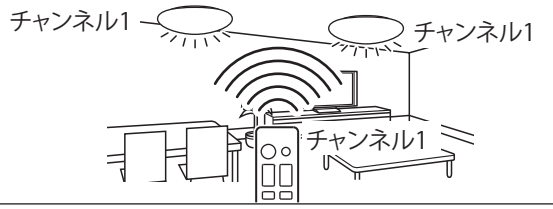
複数のリモコン照明器具を操作する

照明器具のチャンネルを変更できます

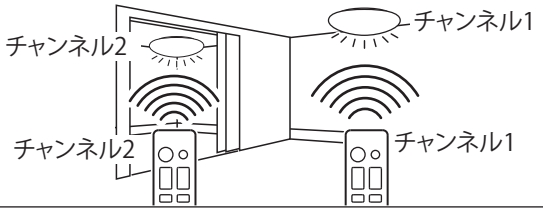
リモコンのチャンネルを切り替えると、1台のリモコンで複数の器具が操作できます。
また、リモコンで器具を操作できない時は、チャンネル設定が正しくない場合があります。

チャンネル設定でできること

●複数の器具を同時に点灯できます。
※器具間の距離やリモコン操作の方向により、同時に点灯しないことがあります。
(例)一部屋に2台のリモコン照明器具がある場合



●近くの器具を別々に点灯できます。
(例)隣室にもリモコン照明器具がある場合

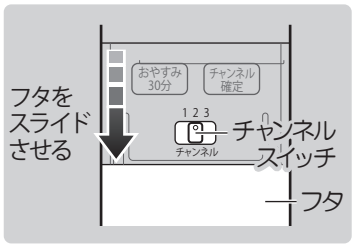


① 壁スイッチ ON



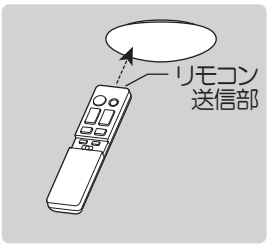
チャンネル設定を行う器具(1台)のみを壁スイッチONにする
(周囲のリモコン照明器具は、必ず壁スイッチOFFにする※1)

② フタをスライドさせる



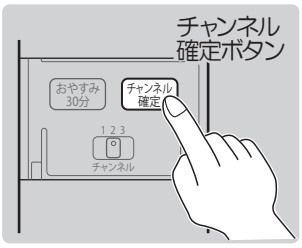
リモコンのフタをスライドさせて「チャンネルスイッチ」を希望のチャンネル(チャンネル1～3)に合わせる(例:チャンネル2)

③



リモコンの「リモコン送信部」を器具に向けて

④



リモコンの「チャンネル確定ボタン」を押す
→「ピピーッ」と音がして設定完了

メモ

本製品以外の照明を操作する場合は、チャンネル設定方法が異なります。ご使用の照明器具の取扱説明書をご覧ください。

※1:周囲のリモコン照明器具が壁スイッチONの場合、その器具もチャンネルが切り替わることがあります。

おやすみタイマーをセットする

おやすみタイマーをONにすると、30分後に自動消灯を行います。

■おやすみタイマーをOFF/ONにする

おやすみ 30分

リモコンの「リモコン送信部」を器具に向けて、リモコンの「おやすみタイマーボタン」を押す

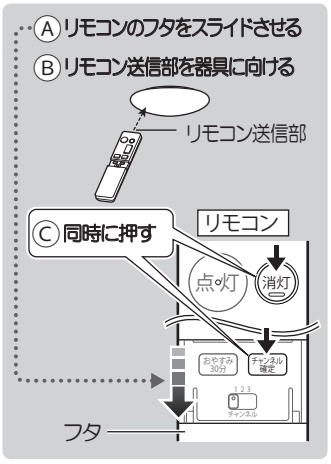
ON (30分後消灯)	→	OFF
「ピッ」と音がする		「ピーッ」と音がする

押すごとに切り替わります。

メモ

●リモコンでの消灯時でも、「おやすみタイマー」は、ONされます。(壁スイッチがOFFの場合は、「おやすみタイマー」はONされません。)
「おやすみタイマー」がONのままで点灯させた場合、「おやすみタイマー」をONにした30分後に消灯します。

故障かな?と思ったら　下表に従って点検してください

現　象	考えられる原因	処　置	参照ページ
本体が取り付かない	アダプタが正しく取り付いていない	①アダプタを外し ②再度、アダプタを取り付ける	5ページ 3 4ページ 2
点灯しない	コネクタが確実に差し込まれていない	①コネクタを一度外し、 ②本体を押し上げてから ③コネクタを再度、差し込む	5ページ 1 4ページ 3 5ページ 5
	壁スイッチがOFFになっている または、リモコンで消灯にして 壁スイッチをOFFにしていた	壁スイッチをONにする、または、 壁スイッチを素早く(1秒以内) OFF→ONにする	6ページ 「壁スイッチで照明器具を操作する」
勝手に点灯する	非常に短い停電などにより壁スイッチ機能がはたらき、点灯状態が切り替わった可能性がある	壁スイッチをOFFにする	—
		リモコンもしくは壁スイッチ操作で点灯モードを切り替える	6~7ページ 「あかりをつける」
勝手に消灯する	「おやすみタイマー」セット中である	「おやすみタイマー」を解除する	8ページ 「おやすみタイマーをセットする」
リモコンで操作できない	リモコンの電池が正しく入っていない	リモコンの電池を正しく入れる	3ページ 「各部のなまえと付属部品」
	リモコンの電池が消耗している	リモコンの電池を交換する	
	リモコンと照明器具のチャンネルが合っていない	リモコンのチャンネルを変更して操作する	8ページ 「複数のリモコン照明器具を操作する」
リモコン操作時にちらつく	調光、調色動作をしている	調色、調光(下限付近)動作時、ちらつく場合がありますが異常ではありません。調色、調光動作が終わるとちらつきも止まります。	
点灯状態が勝手に切り替わる	電子ブロックが異常動作状態になっている	壁スイッチをONにして30秒以内に下記のⒶ~Ⓒの操作を行ってください。 Ⓐリモコンの「フタ」をスライドさせる Ⓑ「リモコン送信部」を器具に向ける Ⓒリモコンの「チャンネル確定ボタン」と「消灯ボタン」を同時に押す(「ピッ」と音がして、常夜灯が点灯します。) ●この操作を行うと、器具の初期設定に戻りますので、下欄の「上記の処置を行っても現象が続く場合」の②を行ってください。 また、記憶させていた点灯のあかり、常夜灯の点灯状態も初期設定に戻りますので、設定をしなおしてください。	
「ピピッ ピピッ ピピッ」と音がした後に、「消灯」する	電子ブロックが故障している	電源を切り、ご購入の販売店、工事店、または弊社「CSセンター」にご相談ください	

上記の処置を行っても現象が続く場合

①電源をいったん切り、約20秒以上経ってから再び電源を入れる
②器具のチャンネルを変更する　☞ 8ページ「複数のリモコン照明器具を操作する」参照

●上記の点検でなお異常のある場合には、ただちに電源を切り、ご購入の販売店、工事店、または弊社「CSセンター」にご相談ください。

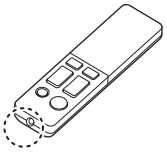
お手入れについて　安全のため、電源を切ってから行ってください

●明るく安全に使用していただくため、
定期的(6カ月に1回程度)に清掃してください。

●汚れがひどい場合は、
石けん水に浸した布をよく絞ってふき取り、
乾いたやわらかい布で仕上げてください。

●リモコンのリモコン送信部は定期的にお手入れを行ってください。
ほこりなどにより汚れるとリモコンが効きにくくなります。

●電池は半年を目安に取り替えてください。
※付属の乾電池は、最初に使用するために用意しているもので、
半年に満たないうちに消耗する場合があります。



確認　シンナー、ベンジンなどの
揮発性のものでふいたり、
殺虫剤をかけたりしないでください。
変色、破損の原因となります。

ご使用上に関するお知らせ　故障や異常ではありません

【器具自体の留意点】

●点灯中や消灯直後、プラスチックの伸縮によるきしみ音が照明器具から発生することがあります。
●天井の材質や構造によっては、天井面が変色することがあります。
●停電時、停電復帰時などで予期せぬ非常に短時間の停電が発生した場合、点灯状態が変わる場合があります。
長時間使わないときは、壁スイッチをOFFしてください。
●壁スイッチがないとリモコン送信器の電池が消耗した場合やリモコン送信器を紛失した場合に点灯消灯ができません。
●壁スイッチがONの場合、消灯時も待機時消費電力を消費しています。
●LED、常夜灯にはバラツキがあるため、同一品番でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
●LED光源は、通常のランプのようにお客様自身でのお取り替えはできません。

【周 囲 の 影 響】

●器具の近くでは、ラジオやテレビなどの音響、映像機器に雑音が入ることがあります。
●3Dテレビ用などの特殊なメガネをかけて点灯している照明器具を見た場合、縞模様やちらつきが見える場合があります。
●3Dテレビ視聴時、リモコンが反応しにくい場合があります。
●点灯中にビデオカメラを使用すると、ビデオカメラのモニターや録画画像に縞模様が入る場合があります。

仕様

品番	使用電圧	周波数	消費電力		入力電流
DCL-41014・DCL-41017	AC100 V	50/60 Hz共用	27.5W	リモコンOFF時（待機時状態）　1 W 以下 常夜灯のみ 約1W	0.29A
DCL-41020・DCL-41023					
DCL-41015・DCL-41018			32W		0.33A
DCL-41021・DCL-41024					
DCL-41016・DCL-41019			36.5W		0.38A
DCL-41022・DCL-41024					

●LED照明器具の光源寿命は、40,000時間です。（照明器具の寿命とは異なります。） 光源の寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。
●品番は器具本体表示をご参照ください。

保証について

1．保証について
この商品の保証期間は3年です。
但し、消耗品は除きます。
詳細は弊社カタログをご参照ください。
※保証期間の例外
24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期間とします。

2．保証書について
保証書が必要な場合は、下記「CSセンター」までお申し出ください。

3．補修用性能部品の保有期間
弊社は照明器具の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。
補修用性能部品（同等の機能を有する代替品含む）とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

点検方法

1．明るく安全に使用するために6ヵ月に1回程度、点検および清掃を行うことをおすすめします。

(1)点検項目

・LEDが切れていませんか。
・正常に点灯しますか。
・天井との取付部、各部品の合わせ目に異常なガタツキ、ゆるみはありませんか。
・異常な臭い、音、発熱はありませんか。
・カバー（セード）等にひび、割れ、変形等が発生していませんか。

2．異常時の処置

異常を感じた場合は、速やかに電源を切って、販売店、工事店、または弊社「CSセンター」までお申し出ください。
（部品等の取り替えは勝手にしないでください。）

商品についてのご相談は　CSセンター（0570）003-937（ナビダイヤル 全国共通）へご連絡ください。

受付時間（月～金曜）9：00～17：00　土・日・祝日、夏季、年末年始休業日は受付しておりません。

大光電機株式会社　〒541-0043　大阪市中央区高麗橋3-2-7　高麗橋ビル6F